

区分	専門分野	単位	1単位
科目名	母性臨床看護Ⅰ	時間数	30時間
講師名	非常勤講師、専任教員	履修学年	2年次
概要	妊産褥婦の身体・心理・社会的特徴を理解する。また、胎児の成長発達や、新生児の特徴について学ぶ。		
学習目標	1. 正常な妊娠・分娩・産褥経過が理解できる。 2. 妊娠・分娩・産褥経過中にみられる妊産褥婦、胎児に起こる異常についての病態・症状・検査・治療が理解できる。 3. 新生児の出生後の正常な経過と特徴が理解できる。 4. 新生児に起こる異常についての病態・症状・検査・治療が理解できる。 5. 褥婦、新生児の事例をもとに看護過程の展開ができる。		
<b>授業内容</b>			
回数	学習内容	授業形態	
1	子供を産み育てることとその看護を学ぶにあたって リプロダクティブヘルスケアの必要性、遺伝相談	講義	
2	妊娠期における看護(妊娠期の身体的特性、妊娠期の心理・社会的特性)	講義	
3	分娩期における看護(分娩の要素、分娩の経過)	講義	
4	産褥期における看護(産褥経過)	講義	
5	妊娠の異常 (ハイリスク妊娠、妊娠期の感染症、妊娠疾患、多胎妊娠、妊娠持続期間の異常、異所性妊娠)	講義	
6	分娩の異常 (産道の異常、娩出力の異常、胎児の異常による分娩障害、胎児付属物の異常、胎児機能不全、分娩時の損傷、分娩第3期及び分娩直後の異常、分娩時異常出血、産科処置と産科手術)	講義	
7	産褥の異常(子宮復古不全、産褥期の発熱、産褥血栓症、精神障害)	講義	
8	精神障害合併妊婦と家族の看護(妊娠への影響) 試験	講義 試験	
9	新生児の生理	講義	
10	新生児のアセスメント(新生児の診断)	講義	
11	新生児の異常と看護 {新生児仮死、分娩外傷、低出生体重児(低出生体重児とは、特有の疾患、管理・治療、予後)}	講義	
12	新生児の異常と看護 {高ビリルビン血症(黄疸のリスク因子、病的な黄疸、黄疸の治療)}	講義	

13	褥婦・新生児の事例	演習
14	褥婦・新生児の事例	演習
15	褥婦・新生児の事例	演習
<b>使用教科書・教材・参考書</b>		
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 医学書院		
<b>成績評価の方法</b>		
筆記試験 100%		
<b>備考</b>		
15回すべて合同授業		
1～12回目 非常勤講師、13～15回目 専任教員		